

東京 グリーンビルディング レポート 2015



世界で高い評価を受ける 東京都のキャップ&トレード制度

地球温暖化による気候変動は、世界共通の深刻な環境問題となっている。東京都の気候変動対策は、削減ポテンシャルの高い都市の建築物分野への対策として、その成果が高く評価され、世界から注目されている。

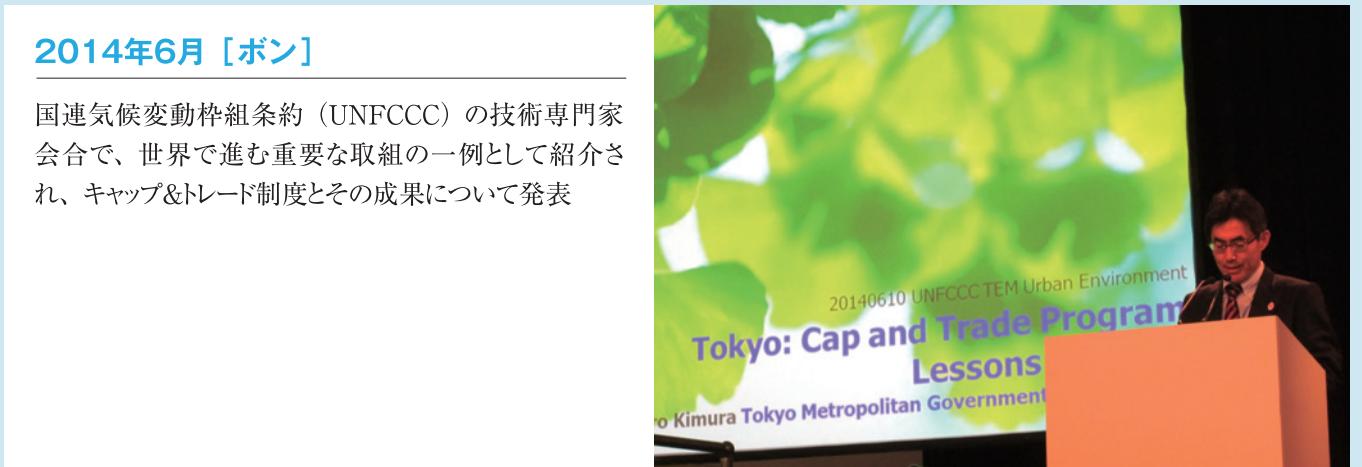


2013年9月 [ロンドン]

C40（世界大都市気候先導グループ）とシーメンス社が主催する「大都市気候リーダーシップ賞」を東京都が受賞

2014年6月 [ポン]

国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の技術専門家会合で、世界で進む重要な取組の一例として紹介され、キャップ&トレード制度とその成果について発表



Website <http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/>

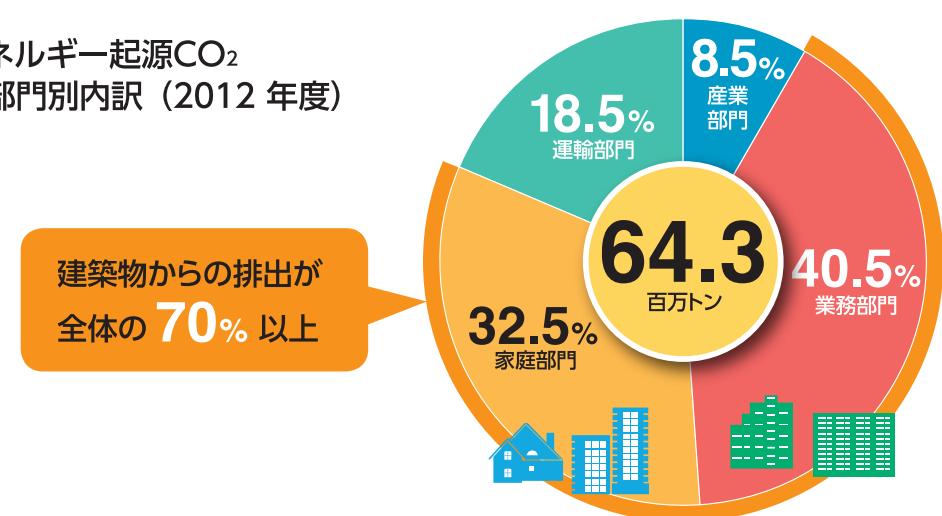
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/kankyo.metro.tokyo.jp>

世界一のスマートエネルギー都市の実現に向けた東京のグリーンビルディング施策

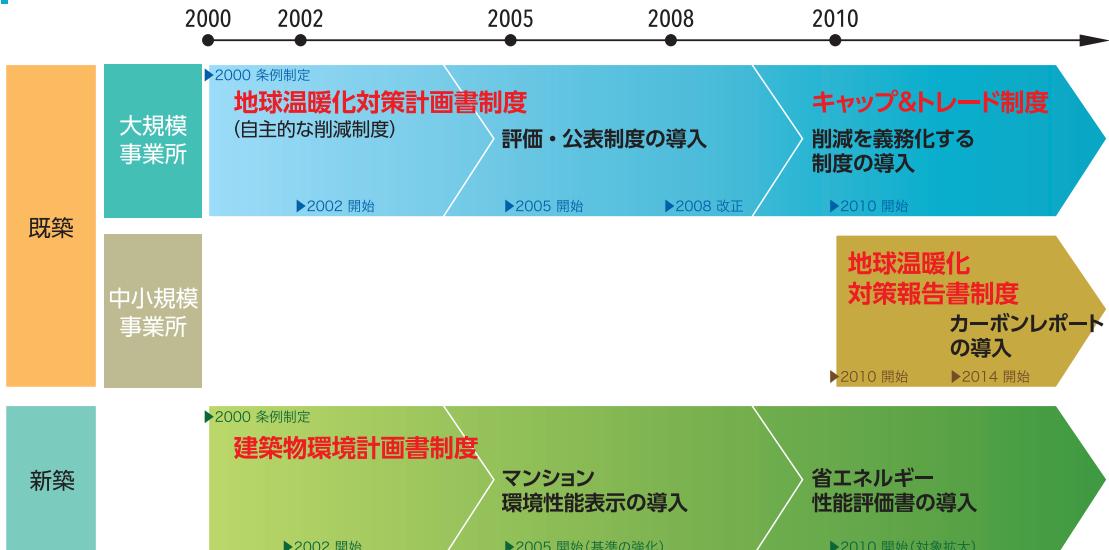
東京都のグリーンビルディング施策の体系



東京のエネルギー起源CO₂排出量の部門別内訳 (2012年度)



グリーンビルディング施策の拡充



世界の人口の半数以上が都市に住む21世紀は、「都市の世紀」とも呼ばれています。世界のエネルギーの多くが都市で消費されている中、気候変動の危機を回避するためには、都市の対策が極めて重要です。

そこで、オフィスビルなどの建築物が集積した世界有数の大都市である東京では、これら建築物の省エネ、CO₂削減に向けたグリーンビルディング施策を進め、着実にその成果を上げてきました。そして、2011年3月に発生した東日本大震災後の電力危機を回避し、経済成長が進む現在においても、東京のエネルギー消費は減少傾向を維持しています。

本冊子では、東京の省エネ、CO₂削減に大きく貢献してきたキャップ&トレード制度を中心に、エネルギーの大消費地、東京が進めるグリーンビルディング施策の概要とその成果を紹介しています。

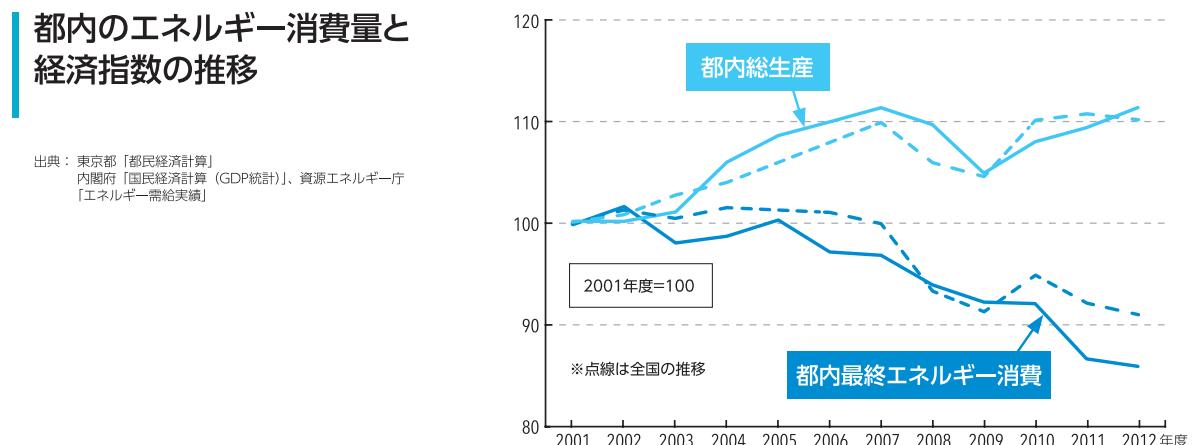
今後も東京は、「2030年までに東京のエネルギー消費量を2000年比30%削減する」という省エネルギー目標のもと、都市の成長と両立する気候変動対策を推進し、世界一のスマートエネルギー都市を創造していきます。



2015(平成27)年7月
東京都知事 外添 要一

都内のエネルギー消費量と経済指標の推移

出典：東京都「都民経済計算」
内閣府「国民経済計算（GDP統計）」、資源エネルギー庁
「エネルギー需給実績」



東京の省エネルギー目標 (2020年・2030年)

■ 産業
■ 業務
■ 家庭
■ 運輸

